議員協議会 報告

11月13日

・広域連合について

六日町と大和町が合併して新市になると、広域連合の構成は一市一町になるが、その場合も湯沢町が今と同じ発言権を持って広域連合の構成員として残れるよう要請していくことを確認した。

・長期財政計画について

毎年、新年度予算の編成に先立ち、担当課は当年を含む数年間の財政見通しを試算するが、その試算結果が報告された。それによると、町の独自財源で新規事業に取り組むことが出来るのは平成15年までで、それ以降は新規に投資的経費に支出する余裕はなくなるとのことであった。

12月16日

・浅貝地区の共同浴場について

公設民営（浅貝地区が経営する）の浴場施設を作るということで、調査費がすでに組まれている。

しかし、旧村一ケ所という原則（二居地区にすでに設置されている）や、他の公設浴場との競合、町の財政見通し等の点からまだ検討せねばならない問題が多く、協議を重ねる必要があるとの結論になった。

・観光立町宣言について

行政の側が先行して動いているが、議会への説明がほしいとの議会側からの要請を受けて、町長から説明があった。議会側からは行政の押し付けにならないような配慮が必要との要請をした。

議会活動日誌

▼9月

◎18H／上樽自然公園整備検討委員会
◎19H／一観光立町宣言」提案説明会
◎20H／旭原ダム記念碑除幕式
◎22H～10月6H／第4回定例会（会期15日間）

▼10月

◎7H／第24回町村議会広報研修会
◎8H～9日／広域連合消防委員会
◎14H／烏根県安来市議会運営委員会行政視察来町
◎15H／産業建設常任委員会研修視察
◎20H／神奈川県城山町総務常任委員会行政視察来町
◎23H～24日／総務文教常任委員会研修視察
◎28H／岩手県東和町総務常任委員会研修視察来町
◎29H／魚野川記念植樹会
◎30H／宮城県大和町議会運営委員会研修視察来町

▼11月

◎4日／第5回臨時会（会期1日）
◎4日／一般国道17号湯沢塩沢道路整備促進規制同盟会15年度総会
◎5日／栃木県南那須町文教福祉常任委員会視察研修来町
◎5日～6H／広域連合総務委員会
◎6日～7H／広域連合環境福祉委員会
◎10日／議員パソコン教室（1日目）開催
◎11日／町村議会議長・副議長・事務局長研修会
◎11日／南魚沼郡町村議会議長会
◎12日／福島県川俣町議会運営委員会視察研修来町
◎17日／北海道西紋別地区町村議会議長会（4町村）行政視察調査来町
◎18日／郡職業能力開発運営協会理事会
◎19日／15年度第3回魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会
◎19H／議員パソコン教室（2H目）開催
◎19H／北海道福島町議会議長視察来町
◎20H／第47回町村議会議長会全国大会
◎21H／第6回臨時会（会期1H）
◎25H／広域連合議会運営委員会
◎28H／広域連合 定例会

▼12月

◎5H／南魚沼郡町村議会議長会委員長以上研修会

産業建設常任委員会

視察研修報告

産業建設常任委員長 田村正幸

産業建設常任委員会では、10月15日～17日の3日間、関川道の駅、飯豊道の駅、小野川温泉、立川町風車村センター、銀山温泉、長崎河川公園を視察研修致しました。

関川、飯豊道の駅については、ダム中止に伴い、二俣地域振興計画にある「道の駅」について委員会としての共通認識を確認することを目的とした。小野川温泉、銀山温泉では「観光立町湯沢」の今後の街づくりの方向性等から、全国的に低迷する観光産業の中で事業者、商店、地域住民参加のもとでの温泉街を新たに構築して低落から脱却し発展する小野川温泉と大正時代に建てられた三層四層の木造建築の旅館が建ち並び、銀山川を挟んでの景観、温泉情緒で旅人の心を捉え、時代に流されずに人々をもてなす銀山温泉を視察研修地に選んだ。立川町は、長年春から秋にかけて最上川の渓谷から東南東の強風、日本三大悪風と呼ばれる「清川ダシ」が吹き荒れ、農作物に被害を及ぼしてきた風に悩まされてきた。しかし地域特性である強風を逆転の発想から、資源として活用することで町おこしを行なってきた。長崎河川公園については、上樽自然公園の今後の取組みについて先進地を調査、研究することで地域や町民、訪れる観光客に愛され、憩いの場となる、せせらぎの自然公園建設を目的に視察を行なった。調査の結果について簡略に報告いたします。

○関川道の駅…新潟県関川村

○飯豊道の駅…山形県飯豊町

道の駅のまとめとして、膨大な敷地面積が必要、地域の歴史を物語る施設や地場産の物産を提供できる施設があり、温泉施設があれば尚良い。只、建設することが目的だけではなく交通量、規模、採算性を考慮して、三俣地域や町全体で検討していかなければならないと考える。

○小野川温泉…山形県米沢市

小野川町

小野川温泉もバブル崩壊の影響から平成4年に観光客が25万人であったものが平成13年には11万人へと落ち込み危機感を募らせていた。そこにJR東日本、JTBの若手社員勉強会のメンバーが訪れた。目的は新しい観光地開発、テーマは「そこに住む人、町全体や文化を丸ごと生かした観光地作り」、「ハード偏重ではなく、地域のホスピタリティを基礎としたオンリーワンの観光地作り」。これをチャンスと捉え、「観光知実行委員会」を発足させた。この会のメンバーは観光業者のみならず床屋、骨屋、設備屋等多くの地元商店の方が参加した。お金をかけずに地域全体をどうして魅力ある町にするか、何をすればより地域住民が住みよい町に出来るか。その結果、観光客も楽しむことが出来る。町を知り、創造し、行動した。

○銀山温泉…山形県

尾花沢市

大正ロマンの湯の街を売りものに歩道の石畳、ガス灯、足湯などを整備して付加価値を高めている。小野川温泉、銀山温泉を視察して、湯沢町でも与えられた環境を最大限活用して、地域や町民参加の下で、町全体で情緒ある温泉街の取組みや、町づくりをしていかなければと感じた。

○立川風車村センター

…山形県立川町

地域特性である強風を資源として活用した風力発電に取組み、環境にやさしい町づくりを目指している。現在11機の風車が稼動し、年間1千26万kwが発電でき町内で消費される56%を担う。

○長崎河川公園

…山形県中山町長崎

面積約1.9ヘクタールの敷地に「川と親しみ学ぶせせらぎ空間」と整合を図り、河川の上下流の姿、河川の作用等、幼児から子供を含めた家族ぐるみで川遊びが楽しめるせせらぎ水路が整備されている。園内には芝生広場、ちびっこゴルフ、グランドゴルフ場が整備されておりグランドゴルフは一日100人の高齢者が利用している。土樽自然公園やノリタ跡地で湯沢町も、今後の高齢者健康施設として考えられる。

山形県立川町
風車村センター

センター内で
説明を受ける委員